今は市内でも稀少な鍛冶屋　重藤刃物製作所（富町）で

職人の仕事

ものづくりへの思いを追って

現在の日本は、大量生産・大量消費社会と言われて久しい。
いま、わたしたちの周りにはものがあふれている。
しかし、大事に使われているものは少ない。
かつて、わたしたちの生活は職人の技によって支えられていた。
職人の作ったものは大事に使われ、ものに人の温かさが込められていた。
職人はいまよりずっと身近な存在だった。
しかし、生産の効率性が優先される時代、職人は減り、その技も消えている。
そんな時代に、いまも、ものづくりに励む職人を取り上げる――。